

わたしがたくさんの方の夢を描けるまち

13票

■語の意味：主語を“わたし”にすることで、読んだ人それぞれが自分だと感じてもらえるようにしています。

■市民ワークショップでの意見を踏まえて：市民ワークショップでの、“のびのび”“ありのまま”“未来に対して希望が持てる”といったフレーズや、“地域が、子どもにたくさんの方の夢を与えられるまち”というフレーズから“夢を描ける”という言葉表現しました。

■方向性によるまちのイメージ：方向性にある「子ども自身がここで育っていきたい、育って良かったと思えること」「大人も子どもも未来への希望が持てること」を2040年まで進めた時の姿として、“たくさんの方の夢”としています。子どもはもちろん、大人も、夢を描くことで自身を成長させられている社会を目指すまちをイメージさせる、なりたいまちの姿です。

子どもと一緒に笑顔になれるまち

7票

■語の意味：長計審であった、「子どもとともにまちが育っていく」というイメージがいいというご意見や、「高齢者に対する話が見えない」というご意見を踏まえ、子どもと“一緒”としました。ここには、子どもだけではなく、親や祖父母、地域など子どもを取り巻くすべての人たちのことであるという意味を込めています。

■市民ワークショップでの意見を踏まえて：市民ワークショップでは、多くの方から“笑顔”というキーワードが寄せられていました。このことを踏まえ、子どもがのびのびと健やかに成長していることを表すのに“笑顔”という言葉を用いています。

■方向性によるまちのイメージ：方向性にある「大人も子どもも未来への希望が持てること」を意識し、一緒に“笑顔になれる”としました。子どもが笑顔になるには、まず周りの人たちが幸せになっていなければならないという意味を込め、みんなの幸せを目指せるような表現にしています。

わたしが、ここで育ったことを誇れるまち

7票

■語の意味：主語を“わたし”にすることで、読んだ人それぞれが自分だと感じてもらえるようにしています。また、“ここで育ったこと”子どもだけでなくすべての人が町田で成長していくことを表しています。そして、“誇れるまち”することで、愛着を超えて、誰かに自慢ができる状態になっていることを表しています。

■市民ワークショップでの意見を踏まえて：市民ワークショップで描かれたまちの姿は、どれも、子どもが“のびのび”“ありのまま”“安心して”成長できるまちであり、そのために、様々な主体がつながり合うまちでした。そうしたまちの姿は、誰にとってもやさしいまちであり、安心感があるまちであり、市民ワークショップでの2040年のイメージでした。

■方向性によるまちのイメージ：方向性にある「子ども自身がここで育っていきたい、育って良かったと思えること」「大人も子どもも未来への希望が持てること」を2040年まで進めた時の姿として、“ここで育ったことを誇れる”としています。まちづくりの方向性を進めた先にある2040年の町田では、住む人や卒業・就職を機に町田を離れてしまう人も機会があるごとに、「町田って子どもにやさしいまちをつくっているから、誰にでも優しいまちなんだよ」とちょっと自慢ができるまちになっていることを表現しています。